食道・胃内視鏡：ＥＳＤ（内視鏡的粘膜下層剥離術）を受けられる方

月日（日時）	／	／		／	／　～　退院
経過	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後１日目	手術後２日目以降
	・安心して手術に臨めるように、目的・内容を理解しましょう。 ・手術に必要な準備をしましょう。	・安全に手術を受けられるよう準備をしましょう。	・手術後は安静を守りましょう ・胸腹部の痛みや不快感、吐き気、嘔吐などの症状がある場合は、看護師にお知らせください。	・胸腹部の痛みや不快感、吐き気、嘔吐などの症状がある場合は、看護師にお知らせください。 ・飲水開始後の症状の変化を教えてください。	・胸腹部の痛みや不快感、吐き気、嘔吐などの症状がある場合は、看護師にお知らせください。 ・食事開始後の症状の変化を教えてください。 ・安全に退院後の生活を送れるよう、心配なことは医師、看護師に相談しましょう。 ・退院後の生活上の注意点を理解しましょう。
点滴		・手術前より点滴を始めます。	・点滴を続けます。	・点滴があります。	・点滴があります。
内服	・現在内服している薬を確認します。 ・医師の指示通りに内服してください。	・朝の薬を6時に内服します。 （指示された薬以外は内服しないでください） ・昼以降の薬は中止です。	・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服があります。	・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服を続けます。 ・常用薬の再開については、医師または看護師が説明します。	・胃粘膜保護薬、止血剤、制酸剤の内服を続けます。 ・抗潰瘍薬が追加で処方されます。
検査	□血液検査 □心電図 □レントゲン があります。	胃内視鏡（ＥＳＤ） ・静脈血栓予防のために弾性ストッキングをはきます。 ・手術着に着替えます。（パンツ・ショーツ・パジャマのズボンは着用できます） ・手術に呼ばれたらスタッフと一緒に（徒歩・車椅子）で内視鏡室へ行きます。	・手術後、病室に戻る前にレントゲン検査があります。ストレッチャーのまま行きます。	・血液検査があります。	
治療・処置		・病棟で尿の管を入れます。	・状態に応じて酸素吸入をします。		
活動・安静度	・制限はありません。	・制限はありません。	・内視鏡室からは、ストレッチャーで戻ります。 ・手術後から３時間はベッド上での安静、以後翌朝までは排便時のトイレのみ歩行できます。 ・歩行の時は必ず看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。	・医師の診察後から病棟内での制限が無くなります。弾性ストッキングを脱いでかまいません。	・制限はありません。
食事	・食事療法をされている方、アレルギーのある方はお知らせください。 ・病状にあった食事を提供します。	・朝から飲食できません。	・飲食はできませんが、指示された薬を内服するための少量の水は飲むことができます。	・医師の診察後、飲水できるようになります。	・手術後の経過で、食事（流動食から）の開始が決まります。 ・食事開始後は、食事摂取量、食後の症状変化などを看護師が確認します。
清潔	・シャワー浴が可能です。	・シャワー浴はできません。 ・手術前に口腔内の清潔を保つため、歯磨き・うがいをすませましょう。		・温かいタオルをお持ちし、身体拭きや着替えをお手伝いします。	・手術後の経過により、医師からシャワー浴の許可が出ます。
排泄	・制限はありません。	・尿の管が入ってからは、管を介しての排尿となります。	・尿の管を介しての排尿となります。 ・手術後３時間目から翌朝まで、排便時はトイレを使用できますが、歩行には看護師の付き添いが必要です。ナースコールでお知らせください。	・尿の管を抜きます。 ・尿の管を抜いた後の排尿状態を看護師が確認しますので、最初の排尿がありましたらお知らせください。	・制限はありません。
説明 生活指導	・入院生活について説明します。 ・手首にリストバンドをつけます。 ・医師・看護師から手術について説明します。（手術前日から手術当日の手術前までに行います） ・ＥＳＤ（内視鏡的粘膜下層剥離術）の同意書を確認します。（手術前日から手術当日の手術前までに行います） ・胃内視鏡問診表を記入してください。 ・手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートは落としてください。	・手首にリストバンドがついていることを確認してください。 ・手術に支障をきたす可能性があるため、義歯・指輪・ネックレス・ピアス・時計・ブラジャーなどの金属類、眼鏡・コンタクトレンズ・かつら・湿布は外してください。	・胸腹部の痛みや不快感・吐き気・嘔吐がありましたら、速やかにナースコールでお知らせください。	・胸腹部の痛みや不快感・吐き気・嘔吐がありましたら、速やかにナースコールでお知らせください。	・胸腹部の痛みや不快感・吐き気・嘔吐が出現する可能性があります。そのような場合は、速やかに看護師へお知らせください。 ・退院後、指示された日まではアルコールなどの刺激物は避け、軟らかい食事、またはよく噛んで食事を召し上がってください。 ・退院後に腹部の痛みや不快感・吐き気が強くなったり、血液の混じった嘔吐物、黒っぽい便が見られるなどの症状があれば、次回の外来まで待たず、受診もしくは電話でご相談ください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
※入院期間については現時点で予測される期間です。

2022 年 9 月 改訂

日本赤十字社医療センター
Japanese Red Cross Medical Center